

主題: 幼児教育・生活科における子ども相互の学びをつなぐ支援の在り方
 - 子どもが発するオノマトペなどの言葉に目を向けて -

第2学年B組 生活科学習指導案

1. 単元 「大きくなあれ, おいしくなあれ, ぼくのわたしのミニトマト」

2. 指導観

【こんな子どもだから】

- 本校区は自然環境に恵まれ, 米・野菜・花づくりなどの農業を営む方も若干名いらっしゃる。また, 校地内に「ふれあいルーム」や「ふれあい農園」があり, 地域の方が進んで集い楽しむ場が提供されている。栽培活動においては, 就学前に園でサツマイモを植えたり, 季節の花を植えたりした経験をもった子が半数ほどおり, 1年生の時にはアサガオを一人一鉢栽培したりもしている。また, 現在家庭で野菜づくりをしている子もいる。しかし, これまでに, 願いや気付きを自分なりに表現する術をまだもち合わせていない子どもが多く, 的確な表現方法の支援や少人数での交流場面の必要性を感じている。
- 虫めがねを使って細かく観察したり, 手で触ったりにおいを嗅いだりと五感を働かせて様子の変化を見ることができる。また, そのことを絵や文で自分なりに表現することができてきている。しかし, 表現する時間や内容にかなりの個人差が見られ, 時間の保障が難しい。
- 活動を通しての発見については気づくことができつつあるが, 自分の成長についての気付きはできていない。また, 友達の気付きを自分の気付きの広がりとして取り入れることはできるが, 関係づけて考えたり, 次の活動に生かしたりすることはまだできていない。

【こんな教材で】

- 比較的じょうぶで, 子どもたちにも育てることができそうな, おいしい実のなる夏野菜「ミニトマト」を一人一鉢で育てることにより, 一人一人が継続的にかかわることができるようにする。また, ミニトマトに対する「大きくなあれ, おいしくなあれ」といった願いをもちながら活動を継続することで, お互いのミニトマトの生長の様子や喜びを感じ合ったり, お世話の工夫を教え合ったりすることができる。また, 同じものを栽培することで自分なりの気付きを友達や周りの人に伝え, 自分の気付きを広めたり深めたりすることができやすいと考える。

【こんな子どもに】

- ぼくのわたしのミニトマトにこだわりをもち, 大きくおいしく育てたいという願いと愛情をもって, 継続的に活動できる子ども
- 活動を通しての気付きを自分なりの方法で表現したり, 周りの人たちに伝えたりすることができ, 次の活動に生かすことができる子ども

【こんな方法で】

- 「であう」段階で、野菜にはどんな種類があるか、どんなお世話の仕方があるのか、今から学校で育てたい野菜はなにかについて自分で調べたり家族に尋ねたりなどして、栽培活動に興味をもたせる。また、ミニトマトの苗を植える際、おうちの人にも手伝ってもらい活動内容を知っていただくことで、家庭でも話題に取り上げてもらうようにする。
- 「さぐる」段階では、まず、昨年育てたアサガオと比較させながら、葉・茎・花・実などの様子について観察させていく。また、「ギザギザ」や「ぼうしみたいな花」など自分なりの表現について共感的な言葉や賞賛・驚きをもって価値付けし、子どもが発する言葉を関係づけていくことで、自分や友達の気付きのよさに気付かせていく。また、育て方のこだわりや生長の喜びを交流したり、家族や地域の野菜名人に秘策を聞いたりすることによって気付きを広げ深めたり、愛情をもってこれからの活動を継続することができるようにする。
- 「ふかめる」段階では、大きくなったミニトマトといっしょに写真を撮ったり、実を持ち帰らせたりして愛情を込めてお世話をしていることを家族にも知らせ、ほめてもらうようにする。また、ミニトマトでできる料理を家で調べたり家庭から連絡帳にて知らせていただいたりして、ミニトマトの生長を多くの人に喜んでもらえるようにする。

3. 単元の目標

- 自分のミニトマトを育てる活動を通して、その生長の様子や喜びを自分なりに表現し、友達や周りの人たちに伝えようとすることができる。

4. 指導計画(全15時間)

段階	学習活動と内容	教師の支援	期待できる姿・表現
で	なつやさいをうえよう。		
あ	○ 夏野菜について、知っていることや、おうちの人に聞いてきたことを出し合う。	○ 野菜の名前や世話の仕方について、自分で考えたり家の人に聞いたりする活動を事前にしておく。	○ 野菜について、自分が知っていることや家族に聞いてきたことをプリントに書いたり話したりすることができる。
う	○ 自分が育ててみたい野菜を考え、発表する。	○ 1年生の時に使った植木鉢で野菜を育てることを知らせる。	【発言・記録分析】
2	○ 自分が育ててみたい野菜を考え、発表する。	○ 1年生の時に使った植木鉢で野菜を育てることを知らせる。	【発言・記録分析】
時	○ どんな野菜になってほしいか、願いを出し合う。	○ じょうぶで、おいしい夏野菜を育てることを知らせどんな野菜を育てたいか、クラスで話し合う。	「ぐんぐんそだて。」 「どんどん大きく、おいしくなあれ。」 【発言・記録分析】
間	○ ミニトマトの苗を植える。	○ おたよりでミニトマトの苗を植えることを保護者に	○ 苗の様子をくわしく表現することができる

		<p>知らせ, 一緒に植えてもら い, お家でも話題にしても らえるようにお願いします。</p>	<p>る。 「はっぱがギザギザ。」 「くきがチクチク。」 「トマトのにおい。」 「黄色い花が咲いてい る。」 【行動・発言】</p>
<p>さ ぐ る 8 時 間</p>	<p>ミニトマトをそだてよう。</p> <p>○ 継続観察の中で, 気付いたことや 友達に教えてもらったことを発 表したり, カードに書いて掲示した りする。</p> <p>○ 気付いたことを出し合ったり, 生 長の喜びを発表したりする。</p>	<p>○ 国語の単元「かんさつ名 人になろう」で, 観察の仕 方や表現方法について学習 したことをもとにカードに まとめるようにする。</p> <p>○ 意欲的に栽培活動ができ るようにするために, 水や りや観察の時間を確保した り, 生長の様子について気 付いたこと・考えたことが 書けるようなカードを準備 する。</p> <p>○ 子どもたちが知りたいこ とや困ったことを調べるこ とができるようにするため に, 図鑑や資料を準備した り, 保護者や地域の方に尋 ねたりする場を確保する。</p> <p>○ おたよりを使って, ミニ トマトの生長の様子や子ど もの活動のよさなどについ て保護者に紹介し, 子ども のがんばりや成長を認めて もらえるようにする。</p> <p>○ 子どもの気付きを拾って おき, その気付きの言葉を 掲示したり, 交流したりす る場を設定することで, 他 に広がったり深まったりで きるようにする。</p>	<p>○ 自分が気付いたこ とや友達に教えても らったことを表現す ることができる。 【行動・発言・記録分析】</p> <p>「はっぱの上の方がガ サガサ。」 「花はぼうしみたいで 下向きにさいてい る。」 「実の上の方はこいみ どりで下の方はうす いみどり。」 「実はビー玉より大き いよ。」 【行動・発言・記録分析】</p> <p>○ もっと大きくおいし くなるために, 本で 調べたり, 友達や家 族・地域の人に聞い たりすることができる。 【行動・発言・記録分析】</p> <p>「カラスが実を食べに くるよ。キラキラ光 るものがきらいだか ら, キラキラを支柱 につけよう。」 「もっと元気になるよ うにまほうの水をそ うとかけよう。」</p>

ふ か め る 5 時 間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">ミニトマトをしゅうかくしよう。</div> ○ できたミニトマトを収穫する。 ○ 自分の活動を振り返る。	○ どんな料理をしたいか、子どもの願いに寄り添えるようにする。 ○ 栽培活動を振り返り、自分のがんばりや友達のよさに気付いたり、これから先もいろいろな植物を育てたいという意欲をもったりすることができるようにする。	○ どれだけ大きくなったか、だれに食べてもらいたいかなどの願いをもつことができる。 【行動・発言】 ○ 継続的に自分のミニトマトに関わってきたことを振り返り、自分の成長や友達のよさに気付くことができる。 【発言・記録分析】
---------------------------------	--	---	--

5. 本時

平成 17 年 7 月 6 日（水）第 5 校時

於 体育館

6. 本時の目標

大きくなったミニトマトについて、気付いたことを自分なりに表現したり、知りたいことを尋ねたりして、自分の気付きにつなげこれからの活動に生かしていこうとすることができる。

7. 本時指導の考え方

じょうぶで育てやすいミニトマトの苗を 5 月 12 日に植えてから、子どもたちは水やりや支柱立てなどのお世話を続けている。継続的な活動の中で、子どもたちは葉や茎・花や実の様子についてなど、様々なことに気付いている。また、ミニトマトが生長するにつれて、「もっと大きくなってほしい。」「あまくておいしい実になりますように。」などの願いが生まれ、これまで活動を続けている。例えば、なかなか丈が伸びないのは日当たりが悪いせいなのかと考えるも朝日が当たるところに場所をかえる子、水やりが少ないのではないかと考える毎朝たっぷりの水を与える子、脇芽をつむと大きくなるらしいことをおうちの人に尋ね脇芽をつんでいる子、育てている場所の近くでボール遊びをしないようお願いのポスターをかいている子など、子どもたちは自分なりのこだわりをもって育てている。しかし、育てれば育てるほど、もっともっと大きくておいしいミニトマトになるためにどんなお世話をすればいいのかと尋ねてみたいことが次から次へと生まれてきている。

そこで本時は、尋ねたいことを GT(地域の野菜づくり名人の方)に進んで聞き、聞いたことや感じたことをグループに伝え合う交流の場を設定し、気付きを広げ深めていくことで今後の活動につながっていけるよう、支援したい。







また、GT とのやりとりや交流の中でのオノマトペなどの表現や共感的な言葉を賞賛し、関係づけていくことで、知的な気付きへと導いていきたい。

8. 準備

【子ども】ミニトマトの鉢（一鉢ずつ）、ミニトマトカード、振り返りカード

【教師】子どもの気付きを板書したもの、これまでのおせわがんばり表、お世話に必要なもの

9. 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 ※評価
<p>1. 本時めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて</p> <p>ミニトマトを<u>もっと大きく</u>, <u>どんどんおいしく</u>するために, <u>どんなことができる</u>だろう。</p> </div> <p>2. GT にあいさつをし, これまでにやってきたお世話についていっしょに確認する。</p> <p>3. もっと大きくおいしくなるためのお話を GT から聞きながら, いっしょに活動する。</p> <div style="margin: 10px 0;">  <p>グングンのびるには, どうしたらいいですか？</p> </div> <div style="margin: 10px 0;">  <p>ミニトマトにはそんなに水はいらないだよ。土がベチャベチャじゃだめなんだ。</p> </div> <div style="margin: 10px 0;">  <p>きみのはよくそだっているね。すごいなあ。土がカチカチだから、わりばしでふわふわにするといいよ。</p> </div> <div style="margin: 10px 0;">  <p>あっ, ホントだ。気づかなかった。〇〇さん, ありがとうございます。</p> </div> <div style="margin: 10px 0;">  <p>〇〇さんに土のことを聞いたよ。いっしょにしよう？</p> </div> <p>4. GT に教えてもらったことを発表し, GT の感想を聞く。</p> <div style="margin: 10px 0;">  <p>土のことや水やりのことを聞きました。明日からまたがんばってお世話したいな。愛情が大事って教えてもらったよ。</p> </div> <p>5. 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○ これまでの世話の仕方について整理できるよう, 掲示物を準備しておく。</p> <p>○ 一人ひとりのミニトマトを準備し, すぐに活動できるようにしておく。</p> <p>※ GT や友達の話聞いて, もっと知りたいことを質問したり, 友達の気付きのよさに気付くことができる。</p> <p>【行動・発言・記録分析】</p> <p>○ GT には子どもたちのミニトマトの生長についてたくさん賞賛していただき, これからの世話の仕方について, 子どもたちがまだ気付いていない点を伝えていただくよう, お願いしておく。</p> <p>○ 友達や GT の話を聞いて, 必ず同じグループの友達に伝えるようにする。</p> <p>○ 必要なものを予め準備しておく。(支柱・ビニールひも・肥料・野菜の土・移植ごて・絵筆・わりばしなど)</p> <p>○ GT には, 子どもたちがやさしい心でお世話を続けていくよさについてなど, 心情面から話してもらうことにする。</p> <p>※ 今日の学習を振り返り, これからも活動を続けていきたいという意欲をもつことができる。</p> <p>【行動・発言・記録分析】</p>